

日時	令和2年*月*日(*)第2校時 9:30~10:15	場所	小学部*年*組教室
指導者	T1 鹿志村 奏子, T2 ** **		
単元名	「長さを比べよう」		
本単元で育成する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある長さの単位と測定の意味について理解し、長さについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付けることができる。 (知識及び技能) <3段階> ・身の回りにある長さの単位に着目し、目的に応じて比較したり、長短及び相当関係を表現したりすることができる。 (思考力・判断力・表現力等) <3段階> ・長さの違いを理解し、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとする。 (学びに向かう力・人間性等) <3段階> 		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・長短を直接比べる方法について理解し、比較している。 ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで長さを比較している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものの長さについて、その単位に着目して長短を比較したり、表現したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長さの違いを理解し、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学習や生活に活用しようとしている。
単元設定の理由	<p>【児童観】 本グループは、男子3名、女子2名の計5名で構成されている。5名とも、算数に対する学習意欲はあり、4名は、活動の流れが分かれば主体的に取り組むことができる。1名はエコラリアやこだわりが見られ、教師の全体への問いかけでは指示が通らないことがあり、適宜言葉掛けや手順表などの視覚支援が必要である。数や比較に関する学習については、5名とも、10までの数字やドット、具体物の数を見て多少を判断することができる。長さについては、5名とも、2つの長さに注目し出っ張っているほうが「長い」、出っ張っていないほうが「短い」などと区別し判断することができる。</p> <p>【単元観】 本単元では、特別支援学校学習指導要領の算数科3段階「目標C 測定 ア 身の回りにある長さや体積などの量の単位と測定の意味について理解し、量の大きさについての感覚を豊かにするとともに、測定することなどについての技能を身に付けるようにする。イ 身の回りにある量の単位に着目し、目的に応じて量を比較したり、量の大小及び相当関係を表現したりする力を養う。」の中の、内容C「ア(ア)㊦長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較すること。㊦ 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較すること。(イ)㊦ 身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすること。」を取り上げる。直接比較については、昨年度から行っているが、物を使って比較する間接比較や任意単位を用いた比較の経験は少ない。そのため、実際に具体物を操作したり数えたりする活動を通して、測定の意味についての理解の基礎となる経験を積み重ねることで、量の大きさについての感覚を身に付けることをねらいとして本単元を設定した。</p> <p>【指導観】 指導にあたっては、具体物を操作し、身近な物の測定と比較を繰り返す行うことで、間接比較や任意単位を用いた比較の仕方の定着を図りたい。単元の導入時には、鉛筆やビニルテープ</p>		

<p>などを使い「どのようにすれば2つのものを正確に比べることができるか」を考える場面を設定する。実際に2つのものの長さを比較することで、「端をそろえること」や「真っすぐ伸ばすこと」などに気付き直接比較をすることができるようにし、長短を判断したり、長い順に並べたりする。単元の中盤は、身近な物のイラスト、机やドアなどの1つしかないものや動かさないものを紙テープやタイルに置き換えて比べる活動を行うことで、間接比較や任意単位による比較ができるようにする。また、長さを比較し、長短の判断とその理由を発表する場面を設けることで、自らの考えを広げ、深めることができるようにする。単元の終盤は、学校内のいろいろなものの中から比較したいものを選び、直接比較できるものは、端をそろえて真っすぐ伸ばして比較したり、直接比較できないものは紙テープなどに置き換えて比較したりするなど、適した方法を考え比較する活動を行うことで、主体的に取り組むことができるようにする。本時は、比較の対象物をタイル幾つ分に置き換え比べる。比較の対象物を色分けしたり目印となる線を引いたり、手元で操作できる教材を提示したりすることで、タイルの端と端をそろえ、真っすぐにして、数えることができるようにする。</p> <p>この単元を通して長さや比較に関する興味関心を広げ、日常生活の中で生かしていくとともに、さらなる学習意欲の向上や普遍単位の学習へつなげていきたい。</p>				
<p>単元の 指導計画 (7時間扱い) 本時は 第6時</p>	次	時	学習内容・活動	評価規準・評価方法
	1 「身近なものを比べてみよう」	1・2 「比べてみよう」	身近なものの長さを直接比較し、長短の判断とその理由を発表する。	長短差の小さいものについて端を揃えたり、横に並べたりするなど適した方法を考え比べようとし、「出っ張っている。」「足りない。」など長短を判断し、その理由を述べたりしている。 (思考・判断・表現) [発表, ワークシート]
	2	3・4 「ものを使って比べよう①」	紙テープを使い、机の縦横の長さを間接比較し、長短の判断とその理由を発表する。	紙テープを使って長短を判断し、その理由を述べている。 (思考・判断・表現) [発表, ワークシート]
	「身の回りの長さを比べよう」	5・⑥ 「ものを使って比べよう②」	身近な物やタイルを幾つ分に置き換え長短を判断する。	タイルの端と端を揃え真っ直ぐに並べ、タイルの数を数えて、長短を比較している。 (知識・技能) [観察, ワークシート]
		7 「いろいろなものを比べよう」	学校内で比較したいものを探し、適した方法で比較する。	様々なものに興味をもち、進んで「長い」「短い」を比べようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) [観察, ワークシート]

〔本時の指導〕

1 本時の目標

- ・タイルの数を数えて、長短を比較することができる。(知識及び技能)

2 児童の実態及び個別目標

①長さの比較

- ◎：2つのものの長さを、同じ属性の量の幾つ分かという数値に置き換えて、長短を言える。
- ：2つのものの長さを紙テープなどに置き換え、間接比較し長短を言える。
- △：2つのものの長さを直接比較したときに、一方に対して「長い」あるいは「短い」と言える。

②端を揃えて並べる

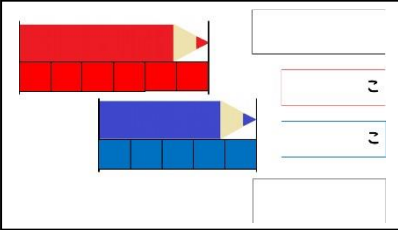
- ◎：端を揃え、真っ直ぐに並べることができる。
- ：指差しや「ぴたっと」など言葉掛けがあれば、端を揃えて並べることができる。
- △：目印となる線や色分けした具体物があれば、端を揃えて並べることができる。

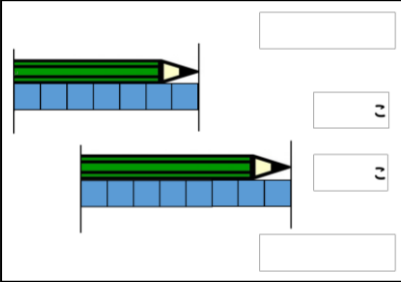
児童 学年 (性別)	児童の実態		個別目標	自立活動の目標
	①	②		
A 小*	○	①	タイルの数を比べ、長短を答えることができる。 (知識及び技能)	
B 小*	○	○	タイルの数を正しく数え、多い方を「長い」少ない方を「短い」と答えることができる。 (知識及び技能)	
C 小*	○ 選択肢を提示すれば言える。	○	タイルの数を数え、数を比較し、長短を答えることができる。 (知識及び技能)	場面に適した言葉を選択肢から選び、言うことができる。
D 小*	△	○	タイルの数が多い方を「長い」と答えることができる。 (知識及び技能)	
E 小*	○	○	タイルの数を数え、多い方を「長い」少ない方を「短い」と答えることができる。 (知識及び技能)	選択肢の中から言葉を選んで、「僕は～です。」と話すことができる。

3 展開

※形態の表記は 全体：全，グループ：グ，個別：個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て（各Tの役割等）※評価は□で囲む
全 (1)	1 始まりのあいさつをする。	・姿勢を正し，始まりを意識できるようにする。
全 (5)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> タイルを つかって くらべよう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 今日の学習 ② 今日の目標 ③ 考えよう ④ やってみよう ⑤ 個別学習 ⑥ ふりかえり </div>	・学習内容や目標を提示することで，見通しをもって取り組むことができるようにする。
全 (2)	3 各自の目標を知る。 ・目標を声に出して読む。	・前時に，頑張りカードに貼り付けた目標を確認する。 ・頑張りカードに書かれた目標を，声に出して読むことで，各自の目標を意識できるようにする。 ・Cさんが自分から読み始めることが難しいときは，T1が目標を指差しながら「タイルを…」などと言葉掛けすることで読み始めることができるようにする。
全 (10)	4 課題を知る。 (1) 赤鉛筆と青鉛筆（イラスト）の長さを比べることを知る。 (2) タイルを使って，比べる時のポイントを確認する。 (3) パワーポイントで比べ方を確認する。	・T2は「話を聞くよ。」などと言葉掛けをすることで，板書やT1に注目することができるようにする。 ・T1がイラストを掲示しながら，直接比較することができないことを確認することで，タイルに置き換えて長短を比較することを意識することができるようにする。 ・タイルの間違った並べ方を見せ，正しく並べ替えたり，既習の「ぴたっとまっすぐ」という言葉を伝えたりすることで，タイルの端と端や対象物の端とタイルの端をそろえることが分かり，正しく並べることができるようにする。 ・アニメーションで比べ方を確認することで，正しい並べ方や操作の手順をイメージすることができるようにする。

<p>全 (11)</p>	<p>(4) タイルを並べる。</p> <p>(5) 幾つ分か数える。</p> <p>(6) 長短を確認する。</p> <p>5 タイルを使って長さを比べる。</p> <p>(1) タイルを並べる。</p>  <p>(2) タイル幾つ分か数える。</p> <p>(3) タイルの個数を書く。</p> <p>(4) どちらが長いか書く。</p> <p>(5) 教師と答え合わせをする。</p> <p>(6) ホワイトボードを掲示する。</p> <p>(7) 答え合わせをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が前に出て、タイルを操作する場面を設けることで、正しい並べ方を意識できるようにする。 ・全員で声に出してタイルの数を数えることで、タイルの個数を意識し、長短を判断できるようにする。 ・T1が指差しながら1つ1つ数えることで、正しく数えることができるようにする。 ・T1が「赤と青どっちのタイルが多かったかな？」と発問することで、長短を考えることができるようにする。 ・タイルの個数を確認することで、タイルの数が多の方が、長いことを意識できるようにする。 ・問題の書かれたホワイトボードとタイルを1人1セット配ることで、各自で解き進めていくことができるようにする。 ・比べる前に「端をそろえ、真つすぐ並べる」というポイントを確認することで、タイル幾つ分を用いて長さの比較をすることができるようにする。 ・T1は、CさんやAさんが活動を始めることが難しいときには、測り方の手本を示したり「タイルを並べるよ」などと言葉掛けをしたりすることで、学習へ気持ちが向くようにする。 ・Dさんがタイルを正しく並べるのが難しいときには、タイルを並べるときの目印となるシートを置くことで、正しくならべることができるようにする。 ・BさんやEさんが、タイルをとばして数えるなど、数え間違えてしまうときには、数字が書かれたシートを置くことで、タイルを正しく数えることができるようにする。 ・Dさんが、数字を書いて答えることが難しい時には、数字カードを選び、ホワイトボードに貼るようすることで、答えることができるようにする。 ・教師が確認した児童から、ホワイトボードを掲示するよう促す。 ・T1は、「〇〇できたね」と頑張ったところを言葉で称賛することで、達成感をもち、主体的に取り組めるようにする。
-------------------	--	---

<p>個 (10)</p>	<p>6 個別学習をする。 ・ワークシートをする。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ AさんやCさんが、他のことに気をとられてしまい、活動を始められないときには、T1が、比べ方の手順表を提示することで、取り組むことができるようにする。 ・ Eさんが数え間違えてしまうときには、T2が□に数字を書きながら数えるよう言葉掛けすることで、正しく数えることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>Aさん</p> <p>タイルの数を比べ、長短を答えている。 (知識・技能)〔観察・ワークシート〕</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>Cさん</p> <p>タイルの数を数え、数を比較し、長短を答えている。 (知識・技能)〔観察・ワークシート〕</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>Eさん</p> <p>タイルの数を数え、多い方を「長い」少ない方を「短い」と答えている。 (知識・技能)〔観察・ワークシート〕</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>Bさん</p> <p>タイルの数を正しく数え、多い方を「長い」少ない方を「短い」と答えている。 (知識・技能)〔観察・ワークシート〕</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>Dさん</p> <p>タイルの数が多い方を「長い」と答えている。 (知識・技能)〔観察・ワークシート〕</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>タイルの数を数えて、長短を比較している。 (知識・技能)〔観察・ワークシート〕</p> </div>
<p>全 (5)</p>	<p>7 本時の振り返りをする。 ・各自の目標を振り返り、頑張りカードに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1が、頑張ったことやよかった点を言葉で称賛することで、本時の学習を振り返ることができるようにする。 ・ 一人ひとりの目標を振り返り、頑張りカードに花丸を書くことで、達成感を味わうことができるようにする。
<p>全 (1)</p>	<p>8 終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 姿勢を正し、終わりを意識できるようにする。

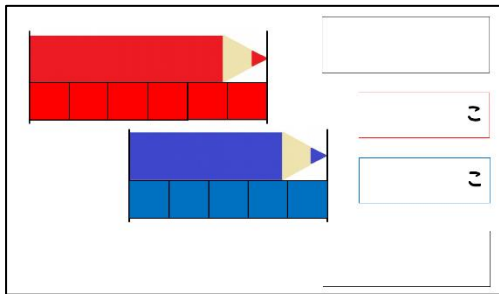
【板書計画】

算数

ブラックウォーター
メロングループ

- ① 今日の学習
- ② 今日の目標
- ③ 考えよう
- ④ やってみよう
- ⑤ 個別学習
- ⑥ ふりかえり

ながさを くらべよう
～タイルを つかって くらべよう
～



【配置図】

ホワイトボード

T1

A

C

D

B

E

T2